

2015/09/29(火)18:30

授業コード	4210023	担当学年	1
科目名称	ヒューマンインターフェース (工学研究科)		
担当教員	塩澤 秀和		
開講学期	2010年度 春学期	単位数	2.0
開講曜日	木曜3限 木曜4限	教室名	院-508演習室
授業の概要	ヒューマンインターフェースおよびヒューマンコンピュータインタラクションに関する比較的新しい研究トピックを概観し、いくつかの代表的な研究事例について考察する。それらに関連するかたちで、人間の認知や操作のモデルなど基礎的な内容についても触れていく。		
到達目標	ヒューマンインターフェースに関する研究論文を読み進め、関連資料を自分で調べながらその内容が把握できるようになる。また、既存のインターフェース技術や新しい研究事例に対して、さまざまな観点から考察できるようになる。		
学士力(授業を通して獲得できる力)			
知識・理解(文化、社会、自然等)		汎用的技能(コミュニケーションスキル、数量的スキル、問題解決能力等)	態度・志向性(自己管理能力、チームワーク、倫理観、社会的責任等)
総合的な学習経験と創造的思考力	○	そのほか獲得できる力	
テーマ	内容	学習課題	
1	ヒューマンインターフェース基礎	1	人間の知覚と認知、アフォーダンス、人間とコンピュータの関係のモデル化
2	入力インターフェース概論	2	入力インターフェースについての概説(ポインティングデバイス、入力操作のモデル化など)
3	入力インターフェースの事例研究(1)	3	入力インターフェースについての事例研究
4	入力インターフェースの事例研究(2)	4	入力インターフェースについての事例研究
5	ビジュアルインターフェース概論	5	ビジュアルインターフェースの概説(視覚認知、GUI、情報可視化)
6	ビジュアルインターフェースの事例研究(1)	6	ビジュアルインターフェースについての事例研究
7	ビジュアルインターフェースの事例研究(2)	7	ビジュアルインターフェースについての事例研究
8	グループウェア(GSCW)概論	8	グループウェア(GSCW)についての概説(共同編集モデル、テレビ会議システム、発想支援など)
9	グループウェア(GSCW)の事例研究(1)	9	グループウェア(GSCW)についての事例研究
10	グループウェア(GSCW)の事例研究(2)	10	グループウェア(GSCW)についての事例研究
11	実世界指向インターフェース概論	11	実世界指向インターフェースについての概説(オーグメントドリアリティ、タンジブルインターフェースなど)
12	実世界指向インターフェースの事例研究(1)	12	実世界指向インターフェースについての事例研究
13	実世界指向インターフェースの事例研究(2)	13	実世界指向インターフェースについての事例研究
14	調査研究発表(1)	14	各自選択したテーマによる発表と討論
15	調査研究発表(2)	15	各自選択したテーマによる発表と討論
定期試験等	試験期間中の筆記試験は行わない。講義時間中に最終レポートの提出およびその発表をしてもらう。		
教科書	必要に応じて講義中に指示する。		
参考文献	岡田謙一他:「ヒューマンコンピュータインタラクション」、オーム社(学部「ヒューマンインターフェース」教科書)など。		
成績評価	最終レポート、研究発表、授業参加状況から総合的に評価する。		
そのほか受講者への指示/メッセージ			